

年 月 日

御中

## 美幌町における星空景観の保全と活用に関する嘆願書（案）

びほろ星空プロジェクト

私たちは、現在検討が進められている美幌町の「第2次観光振興革新ビジョン策定会議」に際し、次期ビジョンの基本方針に星空景観の保全を、町の将来を左右する施策の一つとして位置づけていただきたいと考え、本嘆願書を提出いたします。

### ■美幌町の星空が持つ価値

美幌町はオホーツク地方の中央に位置し、四方を低い山地と広大な畑に囲まれています。この環境は人工光をコントロールすることで道東でも屈指の「星の見える町」となる高い潜在力を持っています。とりわけ美幌峠や女満別方面に広がる大空、農地上空の暗さは、専門家からも高い評価を受けています。

別紙参照）北海道でオーロラ観測 夜空を赤く染める（2023/12/2 産経新聞）など

星空景観を守ることは、今後

- ・観光ブランドとして「美幌＝星の町」という認知を形成し、夜のコンテンツを提案することで、トレイルハイカーの宿泊地として誘導
- ・地域住民の精神的な拠り所（自然と共に暮らす町のアイデンティティ）
- ・若者の定住や移住の呼び水（星空体験を切り口とした関係人口の創出）

として、まちづくり全体に寄与する可能性があります。

### ■星空景観を守るうえでの危機と課題

しかし近年、LED照明の増加、24時間営業店舗の出店、観光地周辺の過度なライトアップなどによって、町内の暗さが少しずつ損なわれてきています。光害（ひかりがい）は一度進むと元に戻すことが難しく、特に以下の懸念が挙げられます。

<光害の懸念点>

- ・景観価値の喪失：星が見えにくくなると、美幌町独自の魅力が大きく失われます。
- ・観光経済への影響：星空観光やナイトツアーの成立が難しくなり、宿泊型観光の機会を逃します。
- ・生態系への負荷：過剰な人工光は人間をはじめとする鳥類・昆虫・植物の生態リズムを乱します。
- ・住民の健康・生活環境への影響：光が強すぎる環境は睡眠の質を低下させ、QOL（生活の質）を損なう可能性があります。

## ■ 星空景観の保全を観光戦略に組み込む意義

星空を守ることは「制限」ではなく、美幌町の未来をひらく「投資」だと考えています。

<星空景観の保全が観光戦略に与えるメリット>

- ・ 星空を核とした広域観光ルートの形成（知床・網走・津別・弟子屈のナイトツーリズムと連携）
- ・ 体験型観光コンテンツの創出（星空農泊、星空キャンプ、光害を抑えた宿泊施設の誘致）
- ・ 農地と星空の一体的景観形成（光害対策型の誘導灯、街路灯の設計ガイドライン策定）
- ・ 教育・文化振興への波及（学校での星空学習、町民参加型観望会、科学教育の強化）

など、「観光×農業×教育」をつなぐ美幌町独自の価値を生み出します。

## ■ 観光戦略見直しに対してのご提案

美幌町の観光振興戦略見直しにあたり、以下を次期ビジョンの施策としてご検討いただきたく、強く要望いたします。

<観光戦略見直しに対してのご提案>

- ① 光害対策の基本方針（ガイドライン）の策定
  - ・ 屋外照明の向き・明るさ・色温度の基準化
  - ・ 夜間照明の使用時間の工夫
- ② 「星空保全区域」（仮称）の設定
  - ・ 美幌峠周辺、農村地帯などを優先的に保全
  - ・ 新規事業者や建築物への照明配慮指針を提示
- ③ 住民参加型の星空保全活動の実施
  - ・ 子どもや町民が参加する星空観望会
  - ・ 地域ぐるみの「ライトダウンデー」の推進
  - ・ 学校での星空学習の推進
- ④ 事業者・宿泊施設との連携
  - ・ 光害対策型の外灯への転換補助 → 看板やライトアップの減光
  - ・ 星空観光に取り組む事業者の支援
- ⑤ 星空を中心とした観光ブランド戦略の構築
  - ・ 「星空の町・美幌」の公式ロゴ・メッセージ
  - ・ 星空イベントやナイトツアー支援制度の整備

## ■ 結び

美幌町の星空は、町民が誇れる「未来に残すべき財産」です。  
観光戦略の見直しは、これを守り育てる大きな機会であり、町の未来を形づくる転換点となります。

どうか、美幌町の星空景観保全を、観光振興戦略の重要な柱として位置づけていただけますよう、心よりお願い申し上げます。

以上

別紙参照

2023年頃から太陽活動が活発化しており、国内各地で低緯度オーロラが観測される事例が増えています。とりわけ、著名な星空写真家 KAGAYA 氏が撮影した美幌峠で低緯度オーロラの写真が SNS 上で大きな反響を呼び、全国的に拡散されました。この出来事により、低緯度オーロラの観測地として「美幌町」の名が広く認知されるようになっていきます。

産経新聞

## 北海道でオーロラ観測 夜空を赤く染める

2023/12/2 11:24

✕ ポスト ✕ 反応      記事を保存

写真・動画 | 写真



北海道美幌町で観測されたオーロラ＝1日午後8時半ごろ（KAGAYAさん撮影）

北海道各地で1日夜、オーロラが観測された。地元の天文台が撮影に成功したほか、交流サイト（SNS）に愛好家らが次々と写真を投稿した。

東京都在住の星空写真家KAGAYA＝本名・加賀谷稜＝さん（55）は、天気と磁気嵐の予報から、観測できる可能性が高いとみて1日に北海道入り。オホーツク海側の美幌峠で午後8時半ごろ、空が赤く染まる様子を撮影した。その後も午後10時半ごろまで断続的に観測できたという。

毎日新聞

# 世界各地でオーロラ観測、北海道の空もピンクに 太陽フレアの影響

2024/5/11 15:39

[2/27]



低緯度オーロラの影響でピンクに染まる北西の空＝北海道美幌町で2024年5月11日午後8時29分、貝塚太一撮影